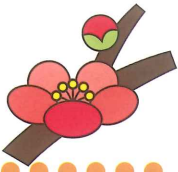


1月



2021年

みやま

第272号

病院理念

『患者さまの不安をとること』

当院の基本方針

「地域に根ざした安心できる医療」

「精神科医療の充実」

「老人医療」医療と福祉の結合

医療法人社団光生会 平川病院

本年の標語 『学びと感謝を常に忘れず 医療に対し誠実な病院 ～それが平川病院～』

(ホームページ) <http://www.hirakawa.or.jp/> (e-mail) hhsp1966@violin.ocn.ne.jp



令和3年1月4日 当院エントランスにて
左より 河合副院長、平川院長、酒井看護部長、村田診療協力部次長



皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします
本年もよろしく願い申し上げます
令和三年 元旦

明けまして おめでとうございます

2021年が明けました。昨年は、新型コロナウイルスのため、普通に暮らせる有難さを思い知らされました。今年も未だ戦いは続いていますが、気温が上がる6月頃には、収束に向かうと期待しています。ワクチンも、副反応などの心配がありますが、欧米での接種状況を見て、当院でも積極的に接種する方向で検討を始めました。6月くらいまでには全入院患者さんに接種が完了するようにしたいと思います。さて、昨年11月頃、八王子のコロナ専用病棟に勤務する看護師さんが、コロナで重症化する患者さんのイメージを聞かれ、「不摂生な中年の親父」だと答えました。中学生の女の子が最も嫌う人物像ですが、食べるだけ食べて、好きなだけ飲んで太って、煙草をプカプカ、糖尿病にも無頓着。人の迷惑も考えられず、自分の好きなように生きている人が重症化すると言っていました。なんだか、顔が浮かんでくるように思います。しかし、11月の話です。今は市中感染が広がって、誰が感染してもおかしくないほど蔓延しています。クラスターがでて検査すると、接触のない新たな陽性者が見つかるようです。気を付けていても、不摂生でなくても感染します。いよいよ本番だということです。もう少しの間、緊張感をもって、難局を乗り切ろうと思います。どうか、皆様、ご協力をお願いします。

院長 平川 淳一

【表紙】 院長挨拶 【P2】 年頭挨拶 【P5】 令和3年平川病院 標語
【P6】 特別メニュー「お寿司の盛り合わせ」



年頭挨拶 ～今年の抱負～



明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスのパンデミックにより、世界中がその対応に追われた1年でした。日常生活や医療体制にも大きな影響がありました。当院でもコロナ対策に大変な労力を費やしました。

我が国のコロナ被害の現状は世界的にみて極めて少なく、死亡者数も季節型インフルエンザと同等以下と報告されております。当院でも、現時点でコロナウイルス陽性者が出ておりません。職員の意識の高さに感謝するとともに、感染対策の基本を徹底することの大切さを痛感した1年でもありました。

人類は、過去にこのような感染症との戦いを、数えきれないほど行い、克服してきたわけです。今回も英知を傾け、感染症と向き合うことにより、必ず克服するであろうことを信じております。見えない敵、日常生活に対する不安など、心身ともに疲れが出ています。各人それぞれ心と体の癒しを工夫してください。

今年が私たちにとって良い年になることを心から祈念いたします。

副院長 河合 伸



あけましておめでとうございます。

昨年は、コロナ対応で皆様大変な中、医局の体制もかわり様々な場面で多くの方の御協力いただき、誠にありがとうございました。この場をかりて、御礼申し上げます。コロナの終息をみえない中、不安もありますが、今だからこそ日々の診療を大切におこない、できることを丁寧に積み重ねていきたいと思っております。今年もよろしく願いいたします。

医局長 伊坂 洋子



新年おめでとうございます

秋の終わりから八王子市内でも、新型コロナウイルスの感染者が急増し、いくつかの高齢者施設でも利用者の感染報告がありました。その中の1つである特養に、12月末に河合副院長と木下師長と共に、感染対策の助言に訪れました。利用者18名と職員8名で合計26名が感染し、そのうち施設内で13名程の利用者に感染対策と共にケアにあたっていました。市中の感染者受け入れ機関が切迫しており、軽症者は自施設で対応するしかない現状で、感染拡大を目の当たりにしました。医療機関とは違って生活の場である高齢者施設の感染対策は、慣れない業務と不安で苦労も多いただろうと思っておりますが、その渦中でも皆さん手探りながらも様々な対策を講じ頑張っていました。患者さんや利用者さんを思う気持ちは、医療機関も高齢者施設の職員も同じだと実感して帰ってきました。

当院は誰ひとり感染者もなく（年末に書いていますので、予想です）2020年の新年を迎えることができました。日々 pcr検査患者を受け入れてくれる職員と、共に感染対策に協力していただいた職員みなさんのお力と感謝しています。しかし、これは対岸の火事ではなく、当院も同じような状況にいつ直面してもおかしくない状況で、患者さんと職員を守るためにも気を引き締めると同時に、発生した時を想定し万全の体制づくりをしていきたいと思っております。

病院にとって職員は財産であり、そんな皆さんの少しでもお役にたてればいいなと思っております。本年もよろしくお願い致します。

看護部長 酒井 科衛子



明けましておめでとうございます

昨年は、私ども歯科室におきまして、新型コロナウイルスに翻弄される一年でした。歯科室における感染対策につきましては、2020年みやま10月号でもご紹介させていただきましたが、特に環境整備に力を入れてまいりました。患者様のアポイントに関しましても、入院患者様・外来患者様・徳寿園やぐらんぱぐらんまの施設の患者様が歯科室内で一緒にならないように、それぞれ時間を決めて入室していただくよう工夫しております。

まだしばらくは、このような状態が続くと考えられます。患者様には、受診時間をご希望に沿えない場合もあるかと存じますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

感染対策もバッチリ行い、スタッフの皆も頑張っております！

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



歯科医師 伊藤 光代

昨年は、事務部部长不在の中、病院の運営に支障が出ないよう現メンバーで頑張っておりましたが、皆様へのご要望に答えることが出来ない場面が多々あったこと、お詫び致します。そんな状況下ではありましたが、数年前から構想しておりました事務室の改修工事を着手することが出来たこと感謝いたします。

今年は、1月よりサービス棟のエレベーターの増設工事が始まります。

当院では、ストレッチャーや配膳車が入るエレベーターが一機しかなく、故障した際のリスク回避から増設は永年の悲願でありました。現在のエレベーターのリニューアルを含め2022年10月の完了を目指しております。近隣並びご来院の皆様にも、ご迷惑をお掛けすることが多々あると思われませんが、ご理解とご協力をお願い致します。

事務部は、4月より新しい体制で、新年度を迎えることが決まっております。スタッフ一同、心機一転頑張っておりますので、引き続き宜しくお願い致します。



事務部 次長 和田 昭平

明けましておめでとうございます。

昨年は私事ではありますが、診療協力部次長を任されまして慌しい年となりました。まずは各部署がそれぞれの立場でどのような役割を担って、どの様に運営しているのか？今まではあまり関わっていなかった部分に対して勉強の年と成りました。また、世界中で問題に成っている新型コロナウイルスの感染、このようなパンデミックを初めて体験しましたが、未だに終息が見えないこの状況に困惑しています。しかし、院長を中心に副院長・看護部長また感染委員会で院内への感染を持ち込まない対策をし、当院では昨年度発生はありませんでした。これは各職員が一丸となって対策に取り組んだ結果だと思えます。今年度においてもまだ気を引き締めていかないと成りませんが、職員全員で頑張っていきたいと思えます。本年も宜しくお願いいたします。

診療協力部 次長 (兼中央検査科 科長) 村田 智



明けましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍の中、プログラムの内容や場所を大幅に変更しました。また文化祭等の行事や東精協の行事関係も全て中止になり、更に椅子やテーブル、プログラムで使用する物品の消毒業務にかなり時間を費やすなど例年とは全く違う年となりました。

今年もこの状況は続く事が予想されますが科員一丸となり、より良いプログラムを提供しながらコロナ禍が終息した後の事も考えていきたいと思えます。本年もよろしくお願い申し上げます。



作業療法科 科長 阿部 孝之

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス拡大にともない、外来部門は一時的に電話による診察やデイケア等、通所部門の休止など一変しました。訪問看護は継続する中で、患者様は通所先に通えなくなるなど、生活スタイルが変わり、感染対策の行動変容を求められる中で、それぞれが受け入れて暮らしている姿に、たくましさを感じた一年でもありました。

そのような患者様の力を目にし、ますます外来は病院の窓口として、デイケアはグループの力を使い、訪問看護は生活の場の強みを生かし、わたしたち職員も力をつけていきたいと励みに思います。そして、今後一層地域に目を向け、地域のネットワークの中で当院の役割を自覚し、果たしていこうと思います。本年もよろしく願いいたします。

地域生活支援科 科長 石橋 さおり



昨年度は新型コロナウイルスの影響で、主に医薬品の情報収集業務、そして人材確保や医薬品の適正使用等といった情報発信等の在り方について考えさせられる一年でした。そして新型コロナに振り回されて、やや浮き足だった一年でもありました。

今年度はオンラインのメリットである、遠くの人や物と繋がることが出来る面を上手く使って行きます。そして、感染対策を行いながら必要な対面での業務も行いながら情報発信に力を入れて行きたいと考えております。新型コロナはワクチンが出来たからといってもすぐに終息はしないでしょう。そのような中でも、基本に立ち返り地に足の着いた業務をこなすよう、仕事に向かい合いたいと思っています。

本年もよろしく願いいたします。

薬剤科 科長 大塚 晃弘



新年あけましておめでとうございます。

昨年のは想像だにできなかった一年となった2020年ですが、スタッフ、そして患者さん・ご家族のご協力のもと、一先ずここまで何とか乗り切ることができました…とは言っても、本稿を書いている現在、再び感染拡大しており、この後もまだまだ緊張の続く毎日となるものと思われまます。

そして、この新型コロナウイルスという目に見えない未知の脅威が、私たちの生活、さらには心に、一体どのような影響を及ぼしていくのかも未だ図り知れません。そのような中で、まずは「自分たちの心身の健康も保つこと」という、医療者・援助者としての初心にも立ち戻って、このコロナ禍で始まる新しい一年に臨んでいきたいと、あらためて思います。

共に無事、本年、そして来たる‘コロナ明け’までを過ごせることを祈りつつ、今年も何卒よろしく願い致します。

心理療法科 科長 淵上 奈緒子



明けましておめでとうございます。

昨年は、現在もまだ先が見ないコロナウイルスしか思い出せない1年でありました。感染対策により業務内容の一部変更もあり、皆様方にご迷惑やご不便をおかけしたこともありました。感染対策は今後も継続せざる負えない中でも、私たちが提供する食事によって、皆様の心身が温まり少しでも不安を取り除くことに貢献が出来るよう、今年もスタッフ一同邁進いたします。

栄養科 科長 青木 忍



あけましておめでとうございます。

リハビリテーション科は、OT2名、ST1名、助手2名（うち1名は非常勤）を採用し、産休中の職員（2名）等の穴を埋めるべく様々な調整を行わなければならない年でしたので、そこにコロナ禍があいまって、1年を通してバタバタしていたな……というのが率直な感想です。その中でも、休みに入っていたスタッフは2名とも無事出産し、2名の昇格者も出して頂けたし、コロナウィルス対策の中からWEB就職説明会等のノウハウについても蓄積をすることができました。本年は、Withコロナの時代としてまた歩いていくことになると思いますので、どんな時にも、できるだけ良い医療を患者様に提供出来るよう、一同協力し合って精進していきたいと思います。



リハビリテーション科 科長 上菌 紗映

昨年は、大人数の会議・研修、関係機関の方と直接会うカンファレンスなど連携に関する業務などが次々と中止になりました。WEBによるリモート会議や研修など今まで体験したことのないことがたくさんあり、慣れていくのが精一杯の1年でした。

今現在、入院中の面会や外出・外泊などが難しく、不自由な状況が続き、ご心配をおかけしております。患者様、ご家族の方、関係者の皆様に感染症対策のご協力をいただいております。

まだこのような状況が続くことが予想されますが、感染症対策に関しては冷静に対応する面を持ち、どんな時でもソーシャルワーカーとして患者様やご家族の声を聞くように心がけ、科としてどのような支援ができるのかを考えていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



医療相談科 科長 荻生 淳希

令和3年 平川病院 標語

当院では毎年、全職員から「標語」を募り、最優秀作に選ばれた標語はその年の病院標語として採用されます。今年の実賞作を紹介します。

《優秀賞 受賞作》 〈敬称略〉

患者さんも職員も笑顔になる医療

南2病棟 師長 渡邊 千恵

心安まる支援を 患者の想いを導き出す医療 平川病院

東4病棟 師長 本田 美智子

変化を楽しみ 新時代の先へ続く医療

リハビリテーション科 梅澤 奈保

マスク越しにでも伝わる 誠実な医療

作業療法科 主任 平本 美佳



特別メニュー「お寿司の盛り合わせ」

「お食事でお寿司を出してみたいね！」と栄養科で以前から話が出ておりましたが、今回特別メニューとしてお寿司の盛り合わせを昼食に提供させていただきました。

生ものであるお寿司ですが、温冷配膳車で温度管理を徹底した上で安全に患者様のもとへお届けすることができました。

患者様からは「美味しかったです」「昼食にお寿司が出るなんて嬉しい」「ありがとうね」などと沢山の嬉しいお言葉や「今日は何の日ですか？」なんてお言葉も頂きました。

今回、ご好評頂きましたのでまた第2弾として違った形でまぐろを提供させていただきたいと考えております。お楽しみに～！

2021年も栄養科一同、患者様へのお食事作りに励んで参りますので、よろしくお願い致します。

栄養科 管理栄養士 遠藤 優



お寿司の盛り
合わせ
お浸し
茶碗蒸し
味噌汁

編集後記

新しい年を迎えましたが、新型コロナウイルスの感染は収まるどころか、感染が拡大しています。ワクチン接種が始まるなど期待感もありますが、ウイルスと共存する生活スタイルを続けて行くしかないのかと……。今年がより良い年になるようお願いを込めて、今年の漢字一文字を予想。今年の漢字一文字は「感」、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き旅行や職場の交流会が復活、感動。東京オリンピックでの選手の活躍に感激。感染と戦った医療従事者に感謝……。その他にも回、盛、復など新型コロナウイルス感染症からの立ち直りを示した漢字が目立った（空想）。そんな願いを抱きつつ今年も広報誌「みやま」をよろしくお願い致します。

編集委員一同

医療法人社団光生会 平川病院

東京都八王子市美山町1076

電話 042-651-3131

FAX 042-651-3133

編集 平川病院 広報委員会

ご意見ご感想はこちらへお願いします

kouhou@hhsp1966.jp

HIRAKAWA
HOSPITAL

